

JAきたみらい

あひま サタタ

2026



vol.280

5



特集

第23回
きたみらい農業協同組合
通常総代会

「きたみらいKid's 販売体験 in 東京」開催
(紹介は2ページです)



豊作を目指して、 玉ねぎの定植スタート

季節の薫り



当JA管内の各地で4月上旬、玉ねぎの定植作業がスタートしました。

今年度、約17.9%の作付けを予定しているきたみらい玉葱振興会副会長の西島剛さんは、12日から定植作業を開始しました。2月の播種後、順調に生育した極早生品種などの苗が手際よく移植機に積み込まれ、次々と圃場に植付けられていきました。

西島副会長は「今年は天気も良く、ハウス内で育てた苗も順調に生育したため、予定より早く植付けを開始することができた。昨年は高温や干ばつでとても厳しい年だったので、今年は適温適雨で生産者一同豊作を目指していきたい」と意気込みを語りました。

当JA管内の玉ねぎ作付面積は約4,600㍍、収穫量は27万5,000トンを見込んでおり、定植は5月中旬ごろまで続く予定となっています。



▲移植機に苗を積み込む西島副会長

おひさまサラダ

をホームページで 閲覧できます！

広報誌「おひさまサラダ」を当JAのホームページで紹介しています。

右下にあるQRコードから閲覧できますので、ぜひご覧下さい。



もくじ CONTENTS

○JAからのお知らせ……………10	○JAトピックス……………6	○表紙紹介……………2 「東京で販売体験！児童24人が参加 きたみらいKid's 販売体験in東京」	○季節の薫り……………2	特集 第23回 きたみらい農業協同組合 通常総代会……………4
○ほのぼの広場……………8 ・わが家のアイドル ・記念の一枚	○みらいプロジェクトチャンネル……………9			

表紙紹介

東京で販売体験！児童24人が参加 ～きたみらいKid's販売体験in東京～

当JAでは子どもたちに第一次産業である農業の重要性や食の大切さを理解し、関心を深めてもらうために食農教育活動の一環として2年に1度、「きたみらいKid's販売体験in東京」を実施しています。7回目となる本年は、3月25日から27日までの3日間で開催し、正組合員のお子さん（小学4・5年生）24人が参加しました。初日は、東京都大田区のイトーヨーカドー大森店で玉ねぎの販売体験を行いました。販売担当者からは、通常の約6倍の売り上げが見せていました。

2日目は、東京ディズニーランドを訪れました。朝からあいにくの雨となりましたが、午後には天候も回復し、交流を深めながら楽しい時間を過ごしました。

最終日は、大田市市場青果棟を見学し、取り扱われる青果物の量や現場の迫力に触れ、流通の仕組みについて理解を深めました。参加した子どもたちは「販売の大変さを実感した」「他の学校の友達かできてよかった」と話し、学びと体験で充実した3日間となりました。



▲販売体験の様子

第23回JAきたみらい 通常総代会



▲開会挨拶を述べる大坪組合長



▲北海道報徳善行賞を受賞した梶浦忠則さん（上常呂）



▲議長を務めた村上孝幸さん（留辺蘂・左）と渡辺重明さん（訓子府・右）

当JAでは4月7日、北見市のホテル黒部で第23回通常総代会を開催し、総代366人（本人181人、代理1人、書面議決184人）が出席しました。提出した5議案全てが可決され採択となりました。

総代会の開催に先立ち、玉ねぎ共同播種プラント組合設立や選果場建設に携わり、地域の主要作物である玉ねぎの生産から出荷に至る改善に尽力された梶浦忠則さん（上常呂）が北海道報徳社より報徳善行賞を受賞し、大坪広則組合長より賞状と記念品が手渡されました。

総代会開会にあたり大坪組合長は「昨今はコロナウイルス感染症も5類に移行し、インバウンドをはじめ、人の動きも活発さを取り戻している。しかし、未だ国際紛争の停戦に至らず、円安傾向や物価高騰による生産資材の高騰も出口が見えない状況である。昨年は日本国内で初の女性総理が誕生し、積極財政で前に進める政治を掲げている中、食料安全保障の重要性を訴えている。農業構造転換集中期間も今年は初動5年間の2年目。次世代の農業生産者が意欲を持つて、持続可能な農業を展開できるように農業構造転換集中対策期間である。集中施策を実施することで、生産現場を取り巻く環境は大きく変化すると思われる、その変化に対応できる農協事業運営を目指すことが、組合員の営農に貢献できるものと考えている。また、当JAの第6次農業振興方策と中期経営計画では、組合員減少と次世代の負担軽減を見据え、最終目標である1事務所体制構築に向けた検討を重ねたいので、組合員の皆様のご理解とご協力を賜りたい」と述べました。

また、令和7年産を振り返り、「融雪は平年より4日遅れた中での播種及び定植作業となった。6月中旬以降はまとまった雨がなく、記録

的な猛暑などの品目も災害級の打撃を受けた。生産面においては生産者の想いや努力が報われない年となったが、できる限りの安定供給に努めた。酪農情勢については、飼料の高止まりで厳しい環境は変わらないが、生産抑制の改善や乳価の改定で生産意欲が回復傾向にある。また、昨年は乳牛のオリンピックとも言われる全日本共進会が北海道で開催され、当JAからは13頭の出品があり、優秀な成績を収め、酪農振興に大きく貢献された。近年の異常気象への対応は今後の大きな課題と捉え、基本に立ち返り、土壌を原点として、生産組織とさらなる連携を図り、農協としても技術対策を提供しながら少



▲議案に挙手で賛成を表明する総代のみなさん



▲閉会挨拶を述べる齊藤専務

しても組合員の生産向上に貢献できるように努力邁進したい」と述べました。

引き続き、2名の議長（留辺蘂地区の村上孝幸さんと訓子府地区の渡辺重明さん）を選任し、議案審議に入りました。令和7年度事業報告・剰余金処分案、令和8年度事業計画など5件の議案が審議され、原案通り可決決定しました。

事業報告では、令和7年度の農畜産物販売取扱実績は計画比12・2%増の532億58百万円と報告され、令和8年度の農畜産物販売取扱高は480億95百万円とする事業計画を決定しました。

最後に齊藤和雄専務の閉会挨拶の後、午後1時52分に全日程を終了しました。

また、今年度の参与には新たに今部直恒さん（留辺蘂）、柳瀬恵美さん（上常呂）、平川のぞみさん（端野）、深川栄司さん（端野）の4人が選任されたことを報告しました。

総代からの質問・意見

議案第1号

- ・ 信連からの借入金及び資金運用を含むJA経営について
- ・ 正組合員、准組合員の減少に伴う考え方と今後の見通しについて
- ・ 事務所建設に係る考え方について

議案第2号

- ・ 事務所再編に係る考え方について
- ・ 研修等への職員同行の要望について
- ・ コンビニのATM手数料に係る今後の影響について
- ・ 今後の物流体制について
- ・ 東京事務所の業務内容及び発信について
- ・ 障がい者雇用と今後の対応について

第23回総代会資料の一部訂正について

訂正箇所

第23回総代会資料 P.59の表 中段
 〈8. 本年度固定資産取得状況〉
 機械装置 計の差引増加欄
 誤 2,222,241千円
 正 6,222,672千円

参与紹介



東地域 端野地区
深川 栄司



東地域 端野地区
平川 のぞみ



東地域 上常呂地区
柳瀬 恵美



西地域 留辺蘂地区
今部 直恒



J A トピックス

二年間の研修を終え、第三者経営継承で就農

～相内地区大森さん営農開始～

当JAの相内地区で、大森拓矢さんが継承先での二年間の研修を終え今年2月に就農しました。大森さんは約50畝の規模で畑作経営を行う、相内地区の鈴木伸一さんから経営継承しました。以前は栃木県で自営業を営んでいましたが、北海道で美味しいものを作りたい気持ち強く、北海道全市町村に問合せをしたところ、北見市で案件があり応募しました。営農を開始した大森さんは「これからは自分で営農することにな

るので、責任を持って作物を育てていきたい。そして鈴木さんから学んだことを作業等でしっかり活かし、地域に溶け込んで地域の方々と一緒に農業に取り組んでいきたい」と意気込みを語ってくれました。経営移譲する鈴木さんは「これからは責任を持って農業経営に励んでいってほしい。今年は豊作でいい年になってほしい」とエールを送りました。



▲機械整備を行う大森さん



▲経営継承した大森さん(左)と経営移譲した鈴木さん(右)

車両整備や実証農場の現場を視察

～JAきたみらい青年部西支部～

JAきたみらい青年部西支部は4月2日、当JA車両整備工場とホクレン訓子府実証農場を訪れる学習会を行い、部員21人が参加しました。整備工場では農機自動車グループの坂野俊彦マネージャーより、整備工場の取り組みや施設の概要について説明を受けました。その後、整備工場や検査場、事務所を見学し、整備工場について理解を深めました。

実証農場ではホクレン農産技術課の出原慧課長より、実証農場の概要や可変施肥、ロボットトラクターの試験について説明を受けました。その後は格納庫に移動し、試験で使われているブロードキャスターやロボットトラクターなどを見学しました。同支部の畑中優太支部長は「普段見られない現場の技術や工夫を知ることができて勉強になった。部員間の交流にもなり、有意義な時間となった」と話しました。



▲整備工場を見学する様子



▲ロボットトラクターを見学する様子

きたみらいスマート農業推進協議会

総会を開催

～スマート農業普及に向けた計画を承認～

当JAのきたみらいスマート農業推進協議会では4月3日、センター地区事務所第8回通常総会を開催し、委任を含む12人の代議員が参加しました。同協議会ではペーパーレスの取り組みを進めており、参加者はJAのタブレットを使って資料の確認を行いました。

開会にあたり水留亮会長は、「組合員戸数の減少や経営面積の拡大が進む中、スマート農業技術の普及が一層重要になってくる。

協議会としても、充実した活動を行い、普及に努めたい」と挨拶しました。新年度の計画として恒例となるスマート農業展示会やロボットトラクター実演会などを提案し、承認されました。役員改選では会長に刈谷亮祐さん、副会長に有馬慎吾さんと星加陽平さんを選任しました。新会長の刈谷さんは就任挨拶で「不安なこともあるが、役員で協力しながらよりの協議会運営をしていきたい」と抱負を話しました。



▲総会の様子



▲抱負を話す刈谷新会長

産地の垣根を越えたコラボ加工品を発売

～JAきたみらい青年部×MEMロピーナッツ～

当JAでは5月上旬、当JA青年部と芽室町でピーナッツの生産販売を行う「MEMロピーナッツ(株)」(以降MEMピー)のコラボ商品「北海道ピーナッツおかき」の発売を開始しました。

同商品は両組織の交流をきっかけに、令和6年度から当JAと連携しながら開発を開始。青年部は少人数で実行委員を立ち上げ、両組織間での協議を重ねながら、風味やパッケージなどの改良を続けました。

「北海道ピーナッツおかき」は当JA産のもち米とMEMピーのピーナッツを使い、ピーナッツの風味が強く感じられる塩味の揚げおかきで、パッケージは産地のコラボ

ボを印象付けた高級感のあるデザインに仕上げられています。

MEMピーの藤井信二代表取締役は「交流を通して仲良くなり、一緒に何かしたいという思いに青年部が応えてくれて形になった。ヒット商品になるようPRを進めていきたい」。また、青年部実行委員の廣中諭さんは「特色の異なる産地が垣根を越えてコラボし、このように商品を発売できることをとてもうれしく思う。今後このような取り組みが広がっていくことにも期待したい」と想いを話しました。

同商品は1箱120g(30g×4袋)で一般販売価格は1,200円(税別)、イオン北見店やコープチャンフォー北見店、コミュニティ



▲商品イメージ



▲商品をPRする青年部の実行委員とMEMの2人(前列中央：藤井代表、後列左から2人目：MEMの土屋真俊氏)

プラザパオで先行販売しています。今後は北見市および芽室町の土産物店などを中心に販売を予定しています。

みらいプロジェクトチャンネル

食料品小売店について①

vol.57

北海道大学大学院農学研究院 李 澍

今月号から少しの間バトンタッチさせてもらうことになりました、小林先生の研究室で研究員をしている李澍（りしゅ）です。この春に博士課程を卒業したばかりですが、小林先生の研究室には大学3年生の時から所属し、きたみらいのみらいプロジェクトでは農家調査やワークショップなどで何度もお世話になりました。

特に4年生の時、初めてきたみらいに来た時のことが印象に残っています。それまでも学部の実習や研究室で農家調査に行くことはありましたが、お宅を訪問して、おうちというプライベートな空間の中で、経営主だけではなく、暮らしまたは農業をとともに営む他の家族の方からも話を聞くことは、この時が初めてでした。都会でのアパート暮らしの経験のみの私にとって、畑のすぐ近くに家があること、玄関に長靴とつなぎが置いてあること、どのおうちも広かったことなど、全て「農家暮らし」という1つの農村風景として映りました。また、個々の農業の経営状況についてだけでなく、農村で暮らしていく上での人とのつながりと生活インフラ面での話を聞かせていただいたことが、その後の自分の研究に大きな影響を与えました。

とにかく食べるのが好きで、食べることを大事にするには何をしたらいいのか。それを求めて農学部に進んだ私ですが、農村地域の皆さんから話を聞くことを重ねる中で、いつの間にか農業や農家、農村での暮らしを大事にすることへと興味関心が広がっていきました。そして、現在私は農村地域の食料品小売店について研究しています。

農村地域の食料品店は住んでいる皆さんが容易に想像できるように、人口減少や競争激化を背景に長く衰退の一途を辿ってきました。買い物難民対策としてその必要性が語られることもありますが、「一部の人のためだけにしかない」「他の選択肢が増える中でなくなっていくのが自然」として捉えられることも少なくありません。しかし、そこで食料品店を「ただのお店」ではなく「地域にあり、誰にでも開かれていて、日常的に気負わず立ち寄れる場」として捉え直すと、その地域における意味は大きく変わって見えてくると思います。実際に、私が北海道・沖縄・海外で見てきた農村地域の食料品小売店は商品を販売する「小売機能」だけでなく、社会的な場として様々な役割を果たし、地域社会の今を支えていました。きたみらいでの調査で、玄関のつなぎと長靴からその農家の暮らしが覗けたのと同じように、私は食料品小売店で見聞きしたことから、地域のくらしと地域そのものを覗かせてもらったような気がしました。

皆さんが利用する食料品小売店。日常生活の基盤にある食料品小売店。そこには、農村地域の今がどんなふう映し出されていて、これからの地域社会に求められるものや暮らしを支える仕組みについて、私たちがどう考えて行けばいいのか。これから数か月をかけて、皆さんにいくつかの事例を紹介しながらいろいろお話できればと思っています。引き続きよろしくお願いたします！

ほのぼのの 広場

わが家のアイドル

電車が大好き！好きなことにまっすぐな仲よし兄弟

まだ雪の残る3月中旬、相内地区豊田にいるおじいちゃんの家遊びに来ていた周くん、権理くん兄弟を取材しました。

お兄ちゃんの周くんは電車や新幹線が大好き！今回の日本滞在中もはやぶさやこまち等の新幹線に乗ったり、取材直前には石北線にも乗ったそうです。取材時には自分で描いた電車の絵を見せてくれました。

また、物を覚えることが得意で、大好きな電車の知識はもちろん、国旗も沢山覚えています。そんな周くんの将来の夢は電車の運転手になることだそうです！

弟の権理くんもお兄ちゃんと一緒に電車に乗ったり、真似をして遊ぶことが好きで、取材時は好奇心旺盛に雪やおもちゃで遊んでいました。

2人は現在ドイツのハンブルクで暮らしており、週末は日本語学校に通って一生懸命勉強しています。

そんな2人にお母さんは「人に迷惑をかけず、好きなことに突き進む人生を送ってほしい」と話してくれました。

博識で、とっても可愛い2人の成長が楽しみです！

周くん・権理くんは川岸一三さんのお孫さんで、お母さんはチュナマン 照代さん、お父さんはチュナマン ヘンリックさんです。



▲左から 周くん、権理くん

相内地区・豊田

あまね
チュナマン 周くん(5歳)

かいり
権理くん(2歳)



▲アンサンブルメンバーでの記念写真
(右から1人目が安齊さん、4人目が佐藤さん)

全国の金管楽器コンクールで金賞 (全国1位)を受賞

北見地区・美里

みおり
安齊 美桜里さん(13歳)

りお
佐藤 里桜さん(14歳)



記念の一枚

この写真は、今年の3月27日に神奈川県で行われた「第28回全日本ジュニア管打楽器コンクール」に参加し、金賞を受賞して記念に撮った1枚です。

私たちは小学生の頃から楽器（美桜里さんはトランペット、里桜さんはチューバ）を演奏していて、今回、私たちの所属する「端野ジュニアバンド」は動画審査を勝ち抜いて、全国大会にあたる同コンクールに出場しました。

コンクールの金管の部には8組が出場しました。結果は銅賞から順に発表され、銀賞まで呼ばれなかったときはとても焦りました。まさか受賞できるとは思っていなかったため、金賞で名前を呼ばれたときは、とても嬉しかったのですが、正直実感がわきませんでした。

端野ジュニアバンドは4月から「コンアモーレ吹奏楽団」となって、団員22人で楽しく活動中！多くの仲間の加入をお待ちしています！

INFORMATION

きたみらい酪農振興協議会 新会長に梶田直樹さん ～第23回通常総代会開催～

きたみらい酪農振興協議会は4月22日、当JA訓子府地区事務所で第23回通常総代会を開催し、代議員22人（内委任状5人）が出席しました。開会挨拶で同協議会の中島英樹会長は「依然と続く資材価格高騰など取り巻く環境は厳しいが、SNSを用いた牛乳消費啓蒙など趣向を凝らした活動のほか、猛暑や干ばつによって飼料作物にも影響があった中で、きたみらい管内の生乳生産量は88,074トンの実績となった。日頃の生産者の努力に敬意を表する」と話しました。議事では令和8年度事業計画及び収支予算案など議案4件が可決されました。役員改選では5期（会長8年、副会長2年）を務めた中島会長に代わり、梶田直樹さんを会長に選任しました。



▲決意を述べる梶田新会長（右）

信用事業の優績JAとして表彰!!

当JAは「令和7年度北海道信用事業優績JA」において総合表彰を受賞しました。表彰には5つある重点推進項目の部門ごとの表彰と、それらを総合した総合表彰があります。当JAは令和3年度から5年連続の総合表彰となり、4月8日、北海道信連の瀬戸代表理事専務より当JAの大坪組合長へ表彰状と副賞が手渡されました。



▲瀬戸代表理事専務（左）より表彰状を受け取った大坪組合長（右）

うし好き集まれ！会員募集！

きたみらいジュニアホルスタインクラブ

きたみらいジュニアホルスタインクラブでは、酪農に興味のある小学1年生～高校3年生が集まり、毎年楽しい交流会や共進会への参加などの活動を行っています！現在、置戸17名・訓子府5名・相内2名・北見1名の合計25名（R8年4月1日時点の会員数）で活動しており、今年もたくさんの楽しい行事を企画しています！興味のある方、加入希望の方は下記事務局までご連絡ください。多くの方の加入をお待ちしています！

主な活動内容

- ・各種共進会への参加
- ・焼き肉交流会
- ・合同交流会
- 管内の3クラブが合同で交流会を開催！内容は酪農に限らず様々！
- ・乳製品の加工実習
- チーズやパン、バター などなど



年会費
2,000円/人

事務局
JAきたみらい畜産相談G
TEL：0157-47-4821

～JAきたみらい東京事務所通信～ Vol.16

「きたみらい農畜産物応援団の拡大マッチング」店舗のご紹介

『鉄板肉と酒 みっちゃん』 埼玉県所沢市緑町4-2-8

剥き玉ねぎ加工を中心とした加工・業務用野菜の会社であります(株)マルト商事からご紹介頂いた店舗で、当JA産の玉ねぎを使用頂いています。「みっちゃん」は、和牛ランプなどを鉄板焼きで楽しめて、お酒も国産ジンやクラフト焼酎などをそろえた、落ち着いた雰囲気のお店です。まるごと玉ねぎのステーキは、鉄板でじっくり焼くので、旨みがぎゅっと詰まったひと品です。▶店舗HP <https://mittcyan.owst.jp/>



▲店舗外観と店内

▲きたみらい産玉ねぎを使用

※「きたみらい農畜産物応援団の拡大マッチング」の取り組みに関する目的等や過去の掲載店舗につきましては、きたみらいホームページ内の東京事務所通信をご覧ください。また、産地指定頂いた店舗について、お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。



▲チーム写真



▲試合中の様子

@worldcurling

きたみらい宮農振興部担い手グループに所属している白井職員は、日々の業務の傍らカーリング選手として活動しています。令和8年3月27日から4月4日に開催された「カーリング男子世界選手権2026」にSC軽井沢のメンバーとして出場しました。今大会では5勝7敗の成績を収め、最終順位は8位となりました。序盤は接戦をものに

できず苦しい展開が続きましたが、中盤以降は持ち前の粘り強さを発揮し、強豪相手にも互角の戦いを見せました。白井職員は全12試合のうち後半の6試合に出場。チームとして目標としていた「プレーオフ進出」とはなりませんでしたが、日本代表として最後まで戦い抜きました。当JAではこれからも白井職員を応援していきます。

白井慎吾職員、 カーリング男子世界選手権に出場！

今後の予定 日本カーリング選手権大会 横浜2026（第43回日本カーリング選手権大会）
日時：2026年6月7日～14日 場所：横浜BUNTAI

INFORMATION

第3回 理事会報告

4月16日、午前9時30分より第3回定例理事会が開催され、報告事項7件、決議事項4件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査（経営定期点検）報告について
- ②財務状況報告について
- ③令和7年産 玉ねぎ選果・販売状況について
- ④生乳生産状況及び個体取引価格状況について
- ⑤令和8年度購買部連休対応について
- ⑥オホーツク農業協同組合長会新体制について
- ⑦組合員状況報告について

【決議事項】

- ①行政庁に対する業務報告書について
- ②固定資産の取得・処分について
- ③規程類の改正について
- ④理事報酬の配分について

JAバンクご利用で

ドドーンとプレゼント!

第1期 2026年4/1(水)~9/30(水) 第2期 2026年10/1(水)~3/31(水)

抽選で合計2,000名さまに、全道JAの特産品がドドーンと当たる!

特賞 ¥10% 選べる特産品20,000円相当
A賞 ¥20% 選べる特産品10,000円相当
B賞 ¥370% 特産品5,000円相当
C賞 ¥1,600% 特産品3,500円相当

ご抽選で全道JA合計20,000名さまにファイターズコラボグッズプレゼント!

WAVE 北海道日本ハムファイターズペア観戦チケット
スコンフィールド北海道 ¥94,188

詳しくはWEBで

農業用廃プラ回収のご案内

本年の廃プラ回収につきまして、次の日程で行います。受入日時・場所や排出区分など確認の上、持ち込み願います。

なお、未洗浄農薬空容器は再生処理ができないため、**洗浄済みのものと比べ約10倍の処理費用が掛かります。**空容器、空袋は洗浄して排出をお勧めします。

- 受入区分
 - ・農ビ類
 - ・農ポリ類
 - ・未洗浄農薬空容器
- 受入時間
 - ・午前 9:00~12:00
 - ・午後 13:00~15:30

日程	受入場所
6月3日(水)	西相内小麦乾燥調製貯蔵施設
6月4日(木)	
6月10日(水)	
6月11日(木)	

※当日の混雑状況はJAコネクト(ライブ配信)を通じて都度、皆さんに公開します。混雑を避けるため、状況をご確認のうえ搬入を行っていただきます様、ご理解ご協力をお願いいたします。

※注意事項
●農耕用廃タイヤ、ビニールホースの回収は秋に行います。

採用職員15人が農作業に奮闘!!

当JAの令和8年度採用職員10人と令和6年度採用職員5人が、4月20日から毎年恒例の農家実習を開始し、令和6年度採用職員は4月24日まで、令和8年度採用職員は5月1日まで行いました。

この実習は農作業を体験することでJA職員としての意識を高め、今後の業務に活かすことを目的にしており、今年度は玉ねぎの苗運びや補植を行いました。

実習を行った金融共済部北見本店貯金課の米田未悠職員は「金融共済部の窓口配属となり、畑を直接見ることが少ない業務のため、今回の実習で農業を体験出来た勉強になった。この経験を活かして日頃の業務を頑張りたい」と意気込みを話しました。



▲玉ねぎの補植作業を行う米田未悠職員(金融共済部北見本店貯金課)

CARRY

キャリイ

JA特別パッケージ

キャリイ KC
K00U-8 700cc 4WD 5MT

この5の価格に
22,000円

131.3万円

SUPER CARRY
キャリイX
JA特別パッケージ

スーパーキャリイX
K03U-8 900cc 4WD 5MT

162.7万円

軽トラ・軽バンをご成約で
スタッドレスタイヤ**4本**プレゼント!

お問合せ先：JAきたみらい農機自動車センター
訓子府町大町158番地 TEL：0157-47-4820

スチールホイール付き

きたみらい給油所お知らせ

一部キャンペーン自粛について(継続中)

4月より、燃料油安定供給の為きたみらい全給油所において一部キャンペーンの開催を自粛しております。ご利用いただいている皆様には大変申し訳ありませんが、石油情勢が安定するまで今しばらく再開をお待ちいただきます様よろしくお願いたします。

※再開の目途が立ち次第、皆様にご連絡させていただきます。

JAきたみらい給油所アプリダウンロードはこちらから
※給油所のイベントやお知らせ等が確認できます

クーポンは毎月発行(次回は広報誌6月号)します。5月のクーポンは6月15日までが使用期間です。クーポンは下記を切り取るか、スマホなどでQR部分を拡大せず画像保存や印刷をしてご使用ください。

5月の割引QRクーポン

～店頭ガソリン・軽油～
5円/L(税込)引き!

有効期限：5月11日～6月15日
※期間中何度でもご使用できます。
QRコードはスマホ等で画像保存していただくか、切り取り線から切り取ってご使用下さい。※拡大・縮小はせず保存して下さい

●取扱給油所・お問合わせ先●

- ◎中ノ島セルフ ◎端野セルフ ◎相内セルフ
- ☎0157-31-1050 ☎0157-56-4112 ☎0157-37-2519
- ◎訓子府セルフ ◎温根湯フル ◎置戸フル
- ☎0157-47-4831 ☎0157-45-2446 ☎0157-52-3869

※必ず給油前にご提示(フル)・QRの読み取りを行ってください。(給油後の提示・読み取りは、割引対象外となります。)
※QRクーポンを忘れた(不所持)場合は、通常給油となります。
※商品券・給油券と併用できません。(R8.4.1より)
※QRクーポンは複数枚のご使用はできません。(1回につき1枚となります。)

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：ゆきだけし



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙か、右のQRコードに答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAX又は応募フォームでご応募下さい。

抽選で6名の方に、JAきたみらいの「玉ねぎと牛すじのカレー」と「玉ねぎと鶏もも肉の黒カレー」をプレゼント致します。



4月号まちがいさがしの当選者

4月号のまちがいさがしの答えは「1、3、7、9、11」でした。

正解者25名の中から抽選の結果、下記の方々が当選しました。おめでとうございます。

- ・遠藤 葵さま(訓子府) ・中井 秀子さま(置戸) ・相馬 美津子さま(訓子府)
- ・野田 康太さま(置戸) ・安斉 龍ノ介さま(北見) ・茂住 海紅さま(留辺蘂)

以上の方々には、JAきたみらいの「玉ねぎ醤油」と「麦まるごとうどん」2袋をプレゼント致します。

い よいよ玉ねぎの移植作業がはじまりましたね!!
農作業事故には気をつけましょう!!

(端野地区 西川 日菜さん)

玉ねぎの移植作業が始まり、いよいよ春作業も本格化してきましたね。機械作業が増える時期でもありますので、慣れている作業でも油断せず、安全確認をしっかりと行いながら、怪我のないよう気をつけてお過ごしください。

VOICE

読者の声

JAきたみらい概要

(令和8年4月12日現在)

- ・組合員数(正) 1,567人
- ・組合員数(准) 5,356人
- ・組合員戸数(正) 807戸
- ・貯金 116,346百万円
- ・貸出金 14,907百万円
- ・出資金 5,090百万円